

(初版) 2019年12月14日
(第1改訂版) 2019年12月20日

各地区 御中

2020 教区代表者会議準備事務局

アンケートの集計・分析の目的と仕方について

集計・分析する目的

- 1 地上を旅している広島教区は、「平和の使徒となろう！」を固有の目標とし、『神の国の完成』を目指して歩んでいます。この度、今までの旅路を振り返ることとこれからさらに旅路を歩むため、2019年11月～2020年11月の間に、総合テーマ「ともに喜びをもって福音を伝える教会へ」を掲げて旅路の評価等をおこなう教区代表者会議の準備と本会議を開きます。
- 2 2019年11月1日付のアンケートは、2002年の教区大会後の福音宣教司牧活動の流れと要点を振り返ること、教区100周年にあたる2023年までに実施する福音宣教活動と100周年の迎え方・祝い方や100周年後の福音宣教活動の優先課題と目標を検討することができます（ロードマップも参照のこと）。
- 3 教区代表者会議の目的は下記のとおりです（再確認）。
 - ①教区のあゆみを振り返る（2010年の教区代表者会議から現在まで）
 - ②「教区創立100周年（2023年）」の迎え方・祝い方を考える
 - ③「教区創立100周年（2023年）」後の教区の優先課題や目標を考える
- 4 各地区において、アンケートを集計・分析する目的は下記のとおりです。
 - 教区代表者会議の総合テーマでもある「ともに喜びをもって福音を伝える教会へ」刷新されるような助けを見出すこと
 - ①そのため今までの歩みを振り返り、現状やその原因をできるかぎり究明し、課題をあぶり出し、その課題に優先順位をつけることの助けを見出すこと
 - ②教区創立100周年を祝う方法を決定することの助けとなる材料を探すこと
 - ③「ともに喜びをもって福音を伝える教会」になるために必要な福音宣教司牧活動の優先的な課題や短期間目標を設定することの助けを見出すこと

アンケートの構造（集計・分析のために）

- 5 アンケートは、三部構成になっており、その構成は下記のとおりです。項目名の後ろはアンケートの設問番号を表示しています。

一、現状の見直し

- ①三本柱の理解…1. [1] ①
- ②4つの推進実践…1. [1] ②～⑤
- ③現在の教区優先課題（4つ）の理解…1. [2] ⑥
- ④宣教司牧テーマの理解…1. [2] ⑦
- ⑤③④の関係（独立・相関）の理解…1. [2] ⑧
- ⑥宣教司牧テーマに沿った活動実践例…1. [3]

二、100周年に向けて

- ①社会へのチャレンジに向けての取り組み予定…2. [1]
- ②記念ミサの希望日…2. [2] ①
- ③100周年関連行事の提案…2. [2] ②

三、今後の優先課題と目標

- ①継続する優先課題と新規の課題（目標）…3. [1]
- ②様々な状況で会議総合テーマを達成するために適した教会機構・組織…3. [2]
- ③様々な状況の中でおこなわれている行事・活動の工夫（継続・休止・廃止・再構築）…3. [3]

四、自由意見（教区代表者会議に向けて）…4.

アンケートの集計・分析の原則

- 6 設問のうち、項目を選択して回答するものは、項目ごとの回答数を集計してください。それにより傾向を把握していただければ幸いです。

例えば、良く分かった・・・ 個
 分かりやすかった・・・ 個
 など

- 7 設問のうち、記述式で回答するものは、記述されている文章を下記の構造で分解してください。この場合、文章の中に複数の事実が記載されている場合は、一つずつに分解して「一つの現状+原因+意見」となるように分析してください。

| | | |
|------------------|--------------|----------------------------|
| 一つの現状又は 一つの事実 | 原因（直接・間接・推定） | 現状や原因に対する意見 （解決するための意見） |
|------------------|--------------|----------------------------|

...

なお、一つの事実等に対して、原因、意見は複数あってもかまいません。

例えば、回答に「ミサに参加している信徒が減少してきている」とあれば、

| 区分 | 内 容 | 個数 |
|----|---|----|
| 事実 | ミサに参加している信徒が減少している | 3 |
| 原因 | 分析の結果：①受洗者が減少している | 3 |
| | ②信徒が高齢化している | 2 |
| | →③よって、病気や高齢が原因で教会へ来られない | 1 |
| | ④ミサの時間が昼からになっている | 2 |
| 意見 | ①-1 主任司祭が他の小教区と掛け持ちのため、入門講座や聖書勉強会が不定期に開催されるため、求道者が減少している | 2 |
| | ①-2 家族の信仰継承がうまくいってなく、子どもは受洗しているがミサに来ない（聖体の秘跡の重要性を理解していない） | 3 |
| | ①-3 学生生徒は学校行事やクラブ活動が日曜日にあり、ミサに参加することが困難である | 2 |
| | ②①-2の原因などで若い世代の信徒がミサに来ていないため、ミサ参加者がおのずと高齢化している | 1 |
| | ③高齢になるほど、病気や老いからくる身体への障害により長距離の移動が難しく、ミサへ参加することが困難であるため、最寄りの駅やバス停からの送迎は検討できないか | 3 |
| | ④主任司祭が主に居住している教会で午前中にミサをして、約50km移動して午後より当教会でミサを司式しているためであり、隔週で午前と午後のミサの時間をかえてもらえるとミサに参加しやすい | 1 |

※記入例では、区分を縦構造（縦方向）にならべて記載しています。実際には横構造をおすすめします。

※個数は、アンケートを集約した結果、同じような意見の個数（件数）を記載してください。

※詳しい記載方法は8以降を参照ください。

- 8 「現状・事実」は、現在の状況や実際の事象を記載してください。なお、推定されることや仮定の事柄（例えば、「～と思われる」など）は、記載しないようにお願いします。

- 9 「原因」は、現状や事実になった“もと”やその事柄を記載してください。これは、直接的な原因、間接的な原因、推定される原因を複数記載してもかまいません。

[一つの事実 : 複数の原因]

この原因を深く掘り下げて分析していただけると、原因となる背景などが発見でき、非常によい分析ができると思います。

- 10 「意見」は、地区レベルにおいて、
- ①現状・事実に対する
 - ②原因に対する
 - ③現状・事実や原因を分析した結果に対する
- 等の主張や考えをして記載してください。

| | | |
|-----|-----|-------------|
| 事実① | | 事実①に対する意見 |
| | 原因① | 原因①に対する意見 |
| | 原因② | 原因②に対する意見 |
| | | 原因②に対する少数意見 |
| | 原因③ | 原因③に対する意見 |
| | 背景 | 背景に対する意見 |

- 11 なお、提出されたアンケート用紙は、すべて 2020 教区代表者会議準備事務局（平和の使徒推進本部内）へ地区を通して提出してください。
- 提出された各地区の集計・分析結果を参考にしながら、提出されたアンケート用紙をもとに教区レベルでも独自にアンケートを集約・分析を行います。

アンケートの提出締切日等について

- 12 小教区等は、回答した又は回収したアンケート用紙を 2019 年 12 月 29 日までに地区宣教司牧評議会事務局宛に各地区センターを通して提出してください。
- 13 各地区は、各小教区等から提出されたアンケート用紙を地区宣教司牧評議会の責任において集計・分析をしてください（地区宣教司牧評議員会から集計・分析作業を委嘱された数名のメンバーがおこなってもかまいません）。
- なお、回収したアンケート用紙と各地区のアンケート集計・分析した結果を 2020 年 2 月 29 日までに 2020 教区代表者会議準備事務局（平和の使徒推進本部内）へ郵送にて提出してください。

14 不明な点や疑問点がある場合は、2020 教区代表者会議準備事務局宛のメールアドレス (平和の使徒推進本部メールアドレスと同じ) pcaph@hiroshima.catholic.jp までお問い合わせください。

なお、件名は「【地区名称】アンケート集計・分析についての問い合わせ」としてください (「地区名称」の部分は所属している教会等の名称に変えてください)。

よろしく申し上げます。
